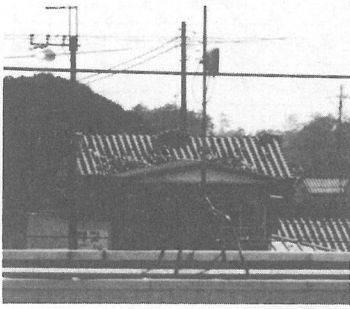


千葉県東方沖地震



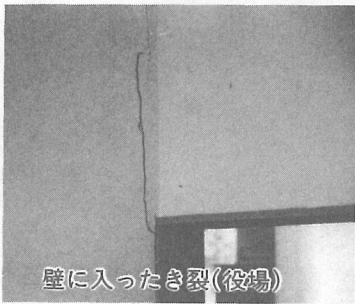
(上町) ▲崩れ落ちた屋根瓦▼ (栗山)

今回の地震では、住宅等の屋根瓦の破損が一番多く、町内全域で280件が確認されました。

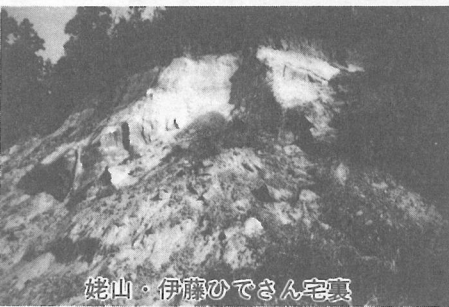
住宅の被害

昨年12月17日午前11時8分ごろ、千葉県東方沖を震源地とした震度5の大地震が発生しました。町内でもかなりの被害があり、改めて地震の恐ろしさを痛感された方も多いのではないのでしょうか。

町では、地震直後の17日、19日に町職員、21日には町職員と大総地区消防団を動員して、被害状況調査を行いました。



壁に入ったき裂(役場)



姥山・伊藤ひでさん宅裏

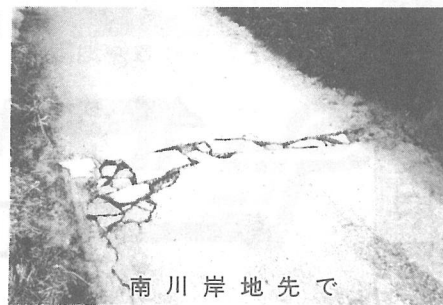
がけ崩れについては、急傾斜地をもつ大総地区で66件が確認されましたが、内43件は軽微なもので人家への影響は

がけ崩れ

道路の被害は33件が確認され、上界地区12件、大総地区21件となっています。

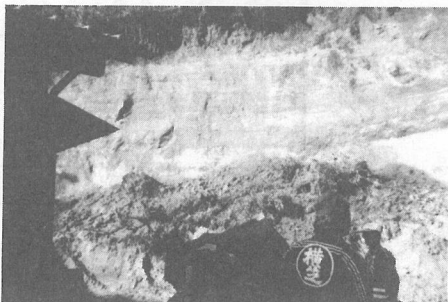
その内訳は、き裂15件、隆起5件、陥没3件、段差7件、排水溝き裂3件となっていますが、いずれも軽微な補修で通行でき、道路交通の乱れはありませんでした。

道路の被害



南川岸地先で

全くないものと思われれます。また、残り23件のうち数件は、崩れ落ちた土砂が人家近くまで押し寄せましたが、幸い直接の被害はありませんでした。



住宅脇まで押し寄せた土砂
姥山・三枝利秋さん宅